

1 学期には「英検」と「漢検」に挑戦し、合格を勝ち取ろう

— ことばは力、英語と漢字はすべての教科の基本 —

開倫塾

塾長 林 明夫

Q 1 : 開倫塾は「英検」「漢検」「数検」の「3大検定」に力を入れているそうですね。なぜですか。

A : (林明夫：以下省略)

(1) 目標を持って各教科の学習に励んでもらいたいからです。

(2) 「目標」は、ちょっとがんばれば達成できるものがよいです。「検定」試験に合格するという「目標」を立て、その学年か、次の学年に学習する内容を少し早めに学習して合格を果たすと、その教科が好きになり、もっともっと学習したくなります。また、自信につながります。興味・関心が深まるとその教科を一生を通じて学び続けたいくなり、人生も豊かになりますよ。

(3) 英語と漢字、数学はすべての教科の基本中の基本です。その学年と次の学年の内容ぐらいいまでをなるべく早くに学習するのに、「英検」「漢検」「数検」は最適です。

(4) 「数検」は秋以降にならないとその学年の内容をすべて学習し終えない人が多いので、1 学期の受験は難しいと思われます。そこで、「数検」は 2、3 学期に受験することをお勧めします。

(5) しかし、「英検」と「漢検」は今からがんばって 2 ～ 3 か月間集中的に学習すれば、自分の学年にふさわしい級の合格が可能です。しっかりと学習して、この 6、7 月の「英検」と「漢検」で合格を果たしましょうね。

Q 2 : 中学生と高校生は、全員が 6 月の「英検」に挑戦したほうがよいのですか。

A : はい、そうです。自分にふさわしい級を 1 年に 1 つ以上確実に取得してください。目安(めやす)は次の通りです。

(1) 中 1 生は「英検 5 級以上の級に挑戦」

(2) 中 2 生は「英検 4 級以上の級に挑戦」

(3) 中 3 生は「英検 3 級以上の級に挑戦」

(4) 高校生は「英検準 2 級以上の級に挑戦」

(5) 高校生は卒業までに「英検準 1 級」合格を目指して英語をしっかりと学んでください。「英検 3 級」、「英検準 2 級」、「2 級」、「準 1 級」と順序よく、3 年間かけて自分にふさわしい級に合格を果たしましょう。「英検」合格を目指しての英語の学習は、大学入試でも社会に出てからも役に立ちます。

Q 3 : 小学生は「英検」に挑戦しなくてもよいのですか。

A : (1) 小学生は英語を学習し始めてすぐの 6 月 7 日(第 1 回)ではなく、10 月 11 日(第 2 回)または 2015 年 1 月 24 日(第 3 回)の「英検」に挑戦することをお勧めします。

- (2)小学生は「英検 5 級」から順序よく英語を学習し、「英検 4 級」、「英検 3 級」と自分にふさわしい級に挑戦することをお勧めします。今後は、学校でも小 5・6 生は正規の教科として週に 2～3 回英語を学ぶようになり、小 3・4 生は週に 1～2 回英語に親しむ学習を行うようになります。現在の小学生も英語をしっかりと学び、「英検 5 級」から順序よく続けるとよいと考えます。
- (3)小 1～3 生も「英検 5 級」に挑戦しましょう。ただし、いきなり「英検」ではちょっとハードルが高いかなと思う人には「児童英検」をお勧めします。
- (4)中学生は全員、「5 級」、「4 級」、「3 級」と自分にふさわしい級にどんどん挑戦し、全員が 1 年に 1 つ以上の級に合格を果たしてください。「英検」合格に遠慮は一切不要です。例えば、小学生や中 1 生で既に「5 級」を取得している人は 6 月 7 日の「英検」で「4 級」に、中 1 生や中 2 生で「4 級」を取得している人は「3 級」に各々挑戦しましょう。
- (5)来春の高校入試の受験生である中 3 生は、全員ができれば 6 月 7 日に「英検 3 級」に挑戦し、合格を勝ち取ること。高校生は、6 月 7 日に「3 級」、「準 2 級」、「2 級」、「準 1 級」のうちの 1 つに挑戦し、合格を果たしましょう。

Q 4 : 「漢検」はどうしたらよいのですか。

- A : (1)6 月 7 日の第 1 回の「英検」を受験しない小 1～6 生は、全員が十分に学習した上で自分にふさわしい「漢検」の級に挑戦し、合格を果たしてください。試験日は 6 月 7 日です。
- (2)中学生と高校生の全塾生は、7 月 11 日に自分にふさわしい「漢検」に挑戦して合格を果たしましょう。
- (3)小 1 生は「10 級」、小 2 生は「9 級」、小 3 生は「8 級」、小 4 生は「7 級」、小 5 生は「6 級」、小 6 生は「5 級」、中学生は「3 級・4 級」、高校生は「準 2 級・2 級」が合格の目安です。自分にふさわしい級の合格を 1 年に 1 つ以上目指しましょう。2～3 か月間かけて十分に学習すると合格できるのが「漢検」です。

Q 5 : 最後に一言どうぞ。

- A : (1)「英検」「漢検」「数検」は過去に出題された問題(過去問)5 年分を 5 回以上繰り返し、じっくりと取り組むことが合格のポイントです。
- (2)各検定試験の問題文は、作問者の先生方が心血を注いで作られたよい問題ばかりです。ですから、問題を解き終えたら、問題の本文すべてと解答の選択肢すべて、解答・解説のすべての文章を、学校の教科書を学習するていねいさで時間をかけて「理解」すること。「理解」した内容は、「音読」「書き取り」「計算・問題」の 3 大練習を繰り返してスミからスミまで正確に身に着けることです。
- (3)「練習は不可能を可能にする」の教訓は、「英検」「漢検」「数検」にもあてはまります。あとは、実行あるのみです。がんばりましょうね。
- (4)開倫塾は、全塾生が「英検」「漢検」「数検」の「開倫塾の 3 大検定」に挑戦し、合格を果たすことを全面的に支援します。自分にふさわしい級を確実に取得し、学力の大幅向上に役立ててください。

— 2014 年 3 月 14 日記 —